

「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌

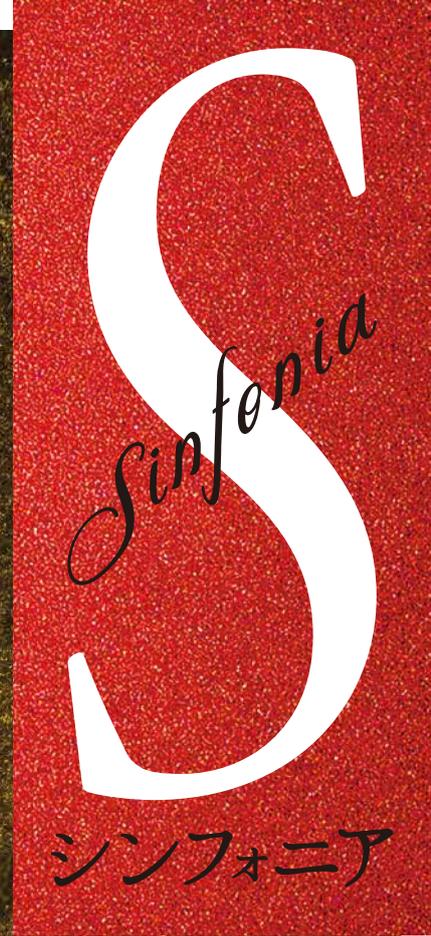
Vol.49

2022 1月-3月  
2022 1/10 発行  
TAKE FREE

謹賀  
2022  
新年

The Symphony Hall 開館40周年

# 40<sup>th</sup> Anniversary Year START!!



シンフォニア

スペシャルコンサート第1弾ラインナップ発表!



Close Up

ライト・シンフォニック コンサート ~大人の贅沢~  
マルティン・ガルシア・ガルシア ピアノ・リサイタル

ほか

# 謹賀新年

2022年新たな年の幕開けをお祝い申し上げます。

2019年12月、未知のウイルスの発生を知らせる一報が世界を震撼させ、1月には日本国内でも感染者が確認されました。

その時は誰もがこれほどの甚大な被害を想像しなかったのではないかと思います。

その後、瞬く間に感染は広がり、2月末には1カ月の予定でイベント開催が制限されました。

今では当たり前（仕方なく）受け入れられている“自粛要請”の第一章でした。

The Symphony Hall40年の歴史の中で初めて、3カ月以上にわたりホールから音楽が消えた瞬間でした。

以来、2回目の年の瀬を経て、ようやく感染者数も落ち着きを見せ、

ホールに音楽とそれを楽しみに待つ人々が帰って来つつあります。

コロナは私たちの生活から多くを奪っていきました。

他方、私達に多くの出会いも与えてくれました。

この2年間、入国出来ない海外アーティストに代わって演奏して下さい

多くの国内アーティストともその出会いの一つでした。

これまでも素晴らしい国内アーティストの演奏会を開いて参りましたが、

新たに多くの素晴らしいアーティストと出会える機会を頂きました。

「クラシック音楽芸術の灯を絶やさない！」その一念で大変な中ご協力頂いた多くの方への

感謝の気持ちを未来永劫忘れずに大切にしたいと思います。

2022年新たな年を迎えます。

ポストコロナ時代、色々と急激且つ大規模な変化の時代と言われていますが、

こんな時こそ、変わらないものも大切にしなければならないと感じます。

1700年代バッハが現在の音楽の礎を築き上げてから300年、災害、伝染病、戦争と幾多の壊滅的被害を乗り越え、

脈々と継承されて来たクラシック音楽芸術は、私達人類に

高度な「教養」と「心の癒し」、それに裏打ちされた「精神性」をもたらし続けてくれました。

今年The Symphony Hallは開館40周年を迎えます。

「心の隅々まで響く生の音楽を」「日常に非日常を作り、心を癒してくれる生の音楽を」今一度、原点に立ち返り、

大切な音楽を、大切なホールを、そして何より、大切なファンの皆さんの想いを「未来へ継承する」。

私達の大切なミッションを鋭意、精進に精進を重ね続けて参ります。

シンフォニア会員様、ご来場の皆様様の今年1年の益々のご多幸をお祈り申し上げ、

ホールで共に素晴らしい音楽を楽しめますよう、今年もご来場を心よりお待ちしております。

株式会社ザ・シンフォニーホール

代表取締役社長 田仲 豊徳

2022年 元旦



*The Symphony Hall*

- 02 ザ・シンフォニーホール40th Special Concert Line Up!!
- 06 The Symphony Hall × 関西4オーケストラ 2022  
New Season Message !
- 08 オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ 2022-2023  
Coming Up Concert!!
- 09 マルティン・ガルシア・ガルシア ピアノ・リサイタル
- 10 ライト・シンフォニックコンサート ~大人の贅沢~
- 12 The Symphony Hall Big Band Vol.17 スペシャルゲスト:古澤 巖
- 14 ピアソラ没後30周年記念プロジェクト 三浦一馬キンテート2022 熱狂のタンゴ
- 16 オールバッハ名曲選!!真夏のオルガン・コンサート2022
- 17 さくらんぼコンサート2022 大阪公演
- 18 硬派弦楽アンサンブル「石田組」
- 20 大阪交響楽団 指揮者就任インタビュー
- 22 横坂 源 チェロ・リサイタル2022
- 23 ベスト・オブ・アリア ~ある晴れた日に~ 伊藤 晴ソプラノ・リサイタル
- 24 特級グランド・コンチェルト
- 26 ABCテレビ主催公演・イベント情報
- 30 日本センチュリー交響楽団
- 32 音楽を愛する団体が集い、夢を発信する「ザ・シンフォニーホール」
- 33 ホールトピックス
- 34 堀江政生のシンフォニア・アワー Vol.49
- 35 Concert Calendar 2022.1~2022.3

# The Symphony Hall

## へご来場のお客様へ

引き続き感染症拡大防止対策へのご協力をお願い致します。

### お客様へのお願い

#### マスク着用



館内では上演中も含め常時マスクの着用をお願い致します。フェイスシールドをご着用の方は、マスクも併せてご着用下さい。マウスガード、透明マスクでのご入場はお断り致します

#### 体温測定



サーモグラフィーや検温器により、37.5℃以上の発熱がある方はご入場をお断り致します

#### 手洗い・手指の消毒



こまめな手洗い、手指の消毒をお願い致します。アルコール消毒液がご利用頂けない方はご自身で代替の除菌シート等をご準備下さい

#### 来場記録シート



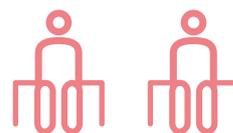
当日券をご購入のお客様やご購入者様とご来場者様が異なる場合はご記入下さい。また、チケット券面にご連絡先の記入欄がある場合は、ご入場前に必ずご記入をお願い申し上げます

#### 館内はお静かに



大きな声での声援や、館内での会話は控え下さい

#### ご自席でのご鑑賞



他のお客様のお座席や、使用していないお座席へのご移動は、他のお客様のご迷惑となりますので、固くお断り致します

#### 1月のSinfonia会員先行予約

●先行予約:1月20日(木) 10:00~

★Sinfonia会員先行予約を開始する1月20日(木)~1月27日(木)の期間は、「お電話」と「窓口」の営業時間を10:00~18:00とさせていただきます。※火曜定休

※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。

※Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。

●電話:ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休)  
新型コロナウイルス感染拡大の状況により、営業時間が変更となる場合がございます。詳細はホームページをご確認ください。

●WEB: <https://www.symphonyhall.jp/>

登録費  
年会費  
無料!

#### シンフォニア会員登録方法

シンフォニア会員にご登録いただけますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

##### ▼ WEBサイトからのご登録

ザ・シンフォニーホール ホームページ  
<https://www.symphonyhall.jp/> からご登録下さい。



携帯・スマートフォン  
をご使用の方は  
こちらからアクセスし  
ていただけます。

##### ▼ ハガキでのご登録

定型ハガキに下記の情報を記載いただき、63円切手を貼付の上、ポストに投函ください。  
【定型ハガキ裏】1.お名前(フリガナ付き)、2.性別、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、  
6.メールアドレス(メールマガジン受取りの場合)  
【定型ハガキ表】531-8501 大阪市北区大淀南2丁目3-3  
ザ・シンフォニーホール「シンフォニア」係

※手続き完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。

※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。[@symphonyhall.jp]をドメイン指定受信して下さい。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

【お客様個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めてまいります。○お客様からご提供いただいた個人情報については、個人情報に関する法令、規程に則り適正に管理いたします。○お客様からいただいた個人情報は、以下の目的のみに使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1)シンフォニア会員様への情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送 (2)ザ・シンフォニーホールで開催する催事をご案内する印刷物の発送 (3)ホールなど施設の利用に関するご案内、ご連絡 (4)ザ・シンフォニーホールの事業、サービスの開発・改善を目的とした調査・研究のためのアンケートの送付・分析・データ集積 (5)チケット予約販売を行うこと、本人確認およびご連絡 (6)株式会社ザ・シンフォニーホールに関するご案内の発送○個人情報のご提供はご自身の意思でご本人様が行うものとなります。○お客様の個人情報を、適正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報に安全に管理されるよう適切に監督します。

#### 追跡システムのご登録

##### ●大阪コロナ追跡システム

ご来場の際に、館内に掲示しているポスターのQRコードより、ご連絡先の登録をお願い致します。公演ごとに、ご登録が必要です

##### ●新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)

厚生労働省が提供している、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のダウンロードにご協力をお願い致します



iPhoneの方はこちら  
App Store



Androidの方はこちら  
Google Play

**5/21** **ライト・シンフォニックコンサート**  
～大人の贅沢～ ★詳細はP10～11をチェック!

“大人の贅沢”をテーマに大阪交響楽団とタッグを組んで開催する人気シリーズ。昨年に続き、岡 幸二郎をゲストに迎えます。ミュージカル界の第一線で30年以上活躍する至宝の圧倒的な歌唱力をぜひ堪能してほしい。



ゲスト 岡 幸二郎



管弦楽 大阪交響楽団

**3/21** **ベスト・オブ・アリア ～ある晴れた日に～**  
伊藤 晴 ソプラノ・リサイタル ★詳細はP23をチェック!

ザ・シンフォニーホールで初リサイタル。歌劇「蝶々夫人」から「ある晴れた日に」、歌劇「ラ・ボエーム」から「私の名はミミ」の他、フランス歌曲も織り交ぜた春らしい選曲。彼女の多面的な魅力が発揮されるに違いない。



**5/28** **マルティン・ガルシア・ガルシア**  
ピアノ・リサイタル ★詳細はP9をチェック!

大きな話題を呼んだ2021年度ショパン国際コンクールで第3位を受賞したマルティン・ガルシア・ガルシアが、ザ・シンフォニーホールに登場!今回が日本で初のソロ・リサイタルとなる。オール・ショパン・プログラムで旬を聴く!



**4/23** **卒寿 外山雄三&レジェンド**

90歳を迎えた外山雄三の卒寿を祝うため、堤 剛、前橋汀子、清水和音という日本を代表する“レジェンド”たちが集結。大阪のクラシック音楽ファンの度肝を抜く一大企画! もちろん濃厚なプログラムにも注目だ。



指揮 外山雄三



チェロ 堤剛  
ヴァイオリン 橋本 子  
ピアノ 清水和音

**7/30** **オールバッハ名曲選!!**  
真夏のオルガンコンサート 2022 ★詳細はP16をチェック!

毎年気鋭のオルガニストが登場する真夏のコンサート。今年は、札幌コンサートホールKitaraの専属オルガニスト、ニコラ・プロカッチーニが演奏する。今年も選りすぐりのオール・バッハ・プログラムをお楽しみに。



**2/14** **川井郁子 シンフォニック・バレンタイン**  
～愛とスケートの名曲たち～

ザ・シンフォニーホールの冬をHOTにしてくれる、恒例バレンタインコンサート。今年も“愛”をテーマにドラマチックにお届けする。毎回、最初から最後までファンを釘付けにするプログラムと演奏を是非体感してほしい。



**1/16** **仲道郁代×4大ソナタ**

ピアニスト仲道郁代が「悲愴」「月光」「ワルトシュタイン」「熱情」というベートーヴェン「4大ソナタ」を一挙に披露する。仲道の深い思索を経て紡がれるベートーヴェンの世界に注目してほしい。



**8/7** **デビュー20周年×ザ・シンフォニーホール開館40周年**  
上原彩子 プレミアム・リサイタル「展覧会の絵」

エネルギーあふれる演奏でファンの心を掴む上原彩子とのWアニバーサリーを記念したリサイタルが実現!ムソルグスキーの組曲「展覧会の絵」他、リスト「ピアノ・ソナタ短調」を予定。公演、チケット情報はともに3月に発表!



**5/12** **The Symphony Hall Big Band Vol.17**  
ゲスト:古澤 巖 ★詳細はP12～13をチェック!

結成から6年目を迎えるThe Symphony Hall Big Bandがヴァイオリニストの古澤巖と6度目の共演!今回は“ディスコ”をテーマにステージを大いに盛り上げる。変幻自在、圧巻のパフォーマンスに期待が集まる。



**3/19** **elegy エレジー**  
横坂 源 チェロ・リサイタル 2022 ★詳細はP22をチェック!

昨年の「エレジー」続編として開催する2度目のリサイタル。今回は、ショパンが最晩年に書いたチェロ・ソナタにも注目。さらにクライスラーやフォーレの小品集も演奏するなど、横坂 源のセンスが光るコンサート。



**2/13** **熱狂コンチェルト 2022**  
哀愁のラフマニノフ 3大名曲選!!

ザ・シンフォニーホールの名物企画「熱狂コンチェルト」。人気と実力を兼ね揃えた名手3人が奏で、ラフマニノフのピアノリズムとオーケストラの響宴。めくるめく美しい旋律をじっくり堪能できるコンサートはすでにチケット完売!



上原彩子  
関本昌平  
角野隼斗

# The Symphony Hall 開館40周年

# 40th Special Concert

# Line Up!!

記念すべき40周年を彩る豪華ラインナップの第1弾を発表!  
国内外の一流アーティストの演奏で、  
アニバーサリーイヤーを盛り上げます!

2月には他にも様々な好企画を展開。才色兼備・川井郁子(ヴァイオリン)の「シンフォニック・バレンタイン」など必聴公演が連続。外山雄三の卒寿公演は、超豪華ソリスト&プログラム。3月19日は、若き鬼才・横坂源(チェロ)が、「エレジー」と題してリサイタルを開催。2021年3月に好評を博した公演の続編で、ショパン最晩年のチェロ・ソナタをメインに据えた深遠な哀歌に注目だ。なお横坂は、12月17日にも飯森範親指揮・日本センチュリー交響楽団と協奏曲を披露。ここでは、彼と並び立つ日本期待の若手チェリスト、宮田大と佐藤晴真も登場するので聴き比べも楽しみだ。

4月23日は、日本現役最高齢の指揮者・外山雄三の卒寿記念公演で、管弦楽は大阪交響楽団。外山を祝うべく、前橋汀子(ヴァイオリン)、堤剛(チェロ)、清水和音(ピアノ)の、錚々たるレジェンドがソリストを務める。前橋がメンデルスゾーン、堤がドヴォルザーク、清水がチャイコフスキーの協奏曲を弾く、何とも豪華で重厚なプログラムが嬉しい。

5月21日は、大人の贅沢がテーマの「ライト・シンフォニックコンサート」が。ゲストは昨年に続き、ミュージカル俳優の岡幸二郎で、横山奏指揮、大阪交響楽団の

ザ・シンフォニーホール主催のスペシャルコンサートを紹介。フィリップスが世界初のCDを製造し、ソニーから世界初のCDプレーヤーが発表された1982年。日本初のクラシック音楽専用コンサートホールとしてザ・シンフォニーホールが建造された。20世紀最高の指揮者の一人、ヘルベルト・フォン・カラヤンが、世界最高峰と絶賛したその空間では、あまたの歴史的公演が行われてきたことは周知の通りだ。2022年に開館40周年を迎えるにあたり、ザ・シンフォニーホールは豪華アーティストを迎えて公演を繰り広げていく。その中から、今回はホールが主催するコンサートの聴きどころをピックアップして紹介する。

2月13日はすでにチケット完売の人気企画「熱狂のコンチェルト」。「哀愁のラフマニノフ3大名曲選!!」と題し、傑作ピアノ協奏曲を一挙にお届けする。ソリストは、YouTubeでも注目の、かていん、こと角野隼斗、2005年ショパン国際コンクール第4位の関本昌平、チャイコフスキーコンクールのピアノ部門で日本人初の優勝を果たした上原彩子(第2番)。三ツ橋敬子指揮、日本センチュリー交響楽団の充実したサウンドのもとで、ラフマニノフならではの華麗なピアノリズムを堪能したい。

## 40周年記念! The Symphony Hall×関西4オケスペシャルコンサート

ザ・シンフォニーホールと関西4オーケストラ、そして日本が世界に誇る名指揮者との最強タッグが実現するスペシャルコンサートを発表!

### 11/3 日本センチュリー交響楽団

木・祝

ベルリオーズの人気曲「ローマの謝肉祭」と「幻想交響曲」を取り上げる日本センチュリー交響楽団。秋山和慶による緻密にして自由、華麗なタクトのもと、オーケストラが放つ色彩感溢れるサウンドをお楽しみに!



秋山和慶

#### Program

ベルリオーズ:  
序曲「ローマの謝肉祭」  
幻想交響曲 op.14

### 8/28 大阪交響楽団

日

若き名匠、原田慶太楼によるバーンスタイン特集。「シンフォニックダンス」は、作曲家自身がザ・シンフォニーホールの舞台でも指揮をしたホールゆかりの作品。新時代のバーンスタイン像に期待が高まる。



原田慶太楼

#### Program

バーンスタイン:  
ウェストサイド物語より  
「シンフォニックダンス」ほか

### 1/29 大阪フィルハーモニー交響楽団

2023  
日

関西4オケコラボレーションシリーズのラストを飾るのは、ベートーヴェン「運命」とR.シュトラウスの「英雄の生涯」というファンには嬉しい真正面のプログラム。尾高忠明と大阪フィルの熱演は見逃せない!



尾高忠明

#### Program

ベートーヴェン:  
交響曲 第5番 短調 op.67  
「運命」  
R.シュトラウス:  
交響詩「英雄の生涯」op.40

### 10/20 関西フィルハーモニー管弦楽団

木

ドイツオペラに造詣が深い飯守泰次郎の指揮で届けるのは、楽劇王ワーグナーの「タンホイザー」とブルックナーの「交響曲第4番」。関西フィルが総力を結集して繰り広げる濃密で重厚な演奏に注目したい。



飯守泰次郎

#### Program

ワーグナー:  
歌劇「タンホイザー」序曲  
ブルックナー:  
交響曲 第4番 変ホ長調  
「ロマンティック」

### 12/17 熱狂コンチェルト

土

宮田大、横坂源、佐藤晴真が出演する、「熱狂コンチェルト」シリーズ。名実ともに日本を代表するチェリスト3人の競演が実現!最初から最後まで目が離せないステージに期待大だ。公演情報、チケット情報は後日発表!



### 1/21 五嶋みどりデビュー40周年×ザ・シンフォニーホール開館40周年 特別公演

2023  
土

五嶋みどりデビュー40周年とザ・シンフォニーホール開館40周年。ともに記念イヤーを祝して開催するプレミアムコンサート。高関 健の指揮、日本センチュリー交響楽団との共演で行うことが決定した。40年間、世界中を魅了し続ける彼女の繊細で優美かつ力強い演奏が、オーケストラと対峙しどのような融合を見せるか、今から待ちきれない。



### 11/19 ゲルハルト・オピッツ ピアノ・リサイタル

土

ドイツピアノの伝統を継承する名匠、ゲルハルト・オピッツがザ・シンフォニーホールに降臨! 2018年にザ・シンフォニーホールのために自ら選定したスタインウェイ・グランドピアノを用い、その円熟した芸術を大阪の音楽ファンに披露する。プログラムやチケット情報などは、後日発表するので、お楽しみに!



### 12/11 シャルル・リシャル＝アムラン ピアノ・リサイタル

日

2015年のショパン国際コンクール第2位受賞以降、ザ・シンフォニーホールでは2017年にリサイタルを開催し、完売を記録したアムラン。宝石のような美しいピアノの音色、豊かな表現力を味わえる好機だ。



and more... 40周年豪華ランナップの第2弾は次号以降で発表! チケット発売情報も後日お知らせ致します。お楽しみに!

**関西4オケとのスペシャルコラボレーションは必見!**

8月から翌年1月にかけては関西の4つのオケとコラボレーションするのも大きな聴きどころ。

写真家の顔も持つ若手実力派原田慶太楼は、大阪交響楽団を指揮。キャリアに縁の深いアメリカにちなんだバーンスタイン「シンフォニックダンス」ほかを披露。

関西フィルハーモニー管弦楽団は、桂冠指揮者・飯守泰次郎と共に、ワーグナー「タンホイザー」序曲や、ブルックナーの交響曲第4番「ロマンティック」など、長大で神話性の高い音楽を明晰に磨き上げていく。

日本センチュリー交響楽団は、巨匠秋山和慶の指揮で、ベルリオーズの色彩豊かな傑作、序曲「ローマの謝肉祭」と「幻想交響曲」などを伸びやかに歌い上げる。

大阪フィルは音楽監督・尾高忠明との共演で、過去に全曲演奏も行ったベートーヴェンの交響曲から第5番「運命」を。さらにR.シュトラウスの交響詩「英雄の生涯」という大作を並べ、真正面から堂々と挑むことだろう。

本誌次号では、さらなるフィナンアップと聴きどころを発表予定。早くも盛り上がる40周年記念イヤーをお楽しみに!!

(文 渡辺謙太郎)

磐石の演奏に乗せてゴージャスなステージを繰り上げる。

12月11日は、2015年ショパンコンクール第2位のシャルル・リシャル＝アムランが、大阪で5年ぶりにリサイタルを開催。緻密かつ流麗な名演を期待しよう。

**世界的に活躍する奏者がザ・シンフォニーホールに光臨**

40周年スペシャルランナップ第1弾の目玉企画として大注目なのが、ゲルハルト・オピッツ(ピアノ)と五嶋みどり(ヴァイオリン)の、超一流、世界的奏者の公演だ。

ドイツ音楽の正統派・オピッツの堅牢で磨き抜かれたその音楽は、多くの聴衆を魅了してきた。ちなみにホール所有のスタインウェイピアノは、オピッツが試弾し「なかなか巡り会えない、素晴らしいピアノ」と惚れ込んで選定した。

翌2023年1月21日には、大阪出身の世界に誇るヴァイオリニスト五嶋みどりのデビュー40周年と、彼女のホームベースともいえるザ・シンフォニーホールの40周年を飾るに相応しく、高関健指揮のもとに日本センチュリー交響楽団との共演が予定されている。演奏家であることにとどまらず2007年から国連ピース・メッセンジャーを務める五嶋の人間性と音楽の真髄に迫る入魂の演奏に期待する。

# The Symphony Hall

## 関西4オーケストラ

# 2022 New Season Message!

年始号恒例! 関西4オーケストラのマエストロよりメッセージを

いただきました! 新シーズンのプログラムとともに紹介します!

### 大阪フィルハーモニー交響楽団

音楽監督  
尾高忠明

©Martin Richardson

#### 指揮者からのメッセージ

新年あけましておめでとうございます。2022年大阪フィルは、ザ・シンフォニーホールで新シリーズ『Le coffre à musique(ル・コフレ・ア・ムジーク)〜音楽の宝箱〜』に取り組みます。楽団初となるフランス音楽をテーマにしたシリーズで、ドイツ、オーストリアの音楽をメインのレパートリーに据えてきた大阪フィルの、力強い音に、フランス音楽のキラキラした輝きがかかる。新しい挑戦にご期待下さい。初回(6月10日)に取り上げるデュプレのレイエムは清らかなハーモニーが美しく大好きな作品。3年前のブラームス・チクルスでも素晴らしい大阪フィル合唱団との共演も楽しみます。

#### ここがポイント

昼と夜の名曲コンサート「マチネ・シンフォニー」&「ソワレ・シンフォニー」を今年も開催いたします。ガーシュウィン×大栗、伊福部という大胆なプログラムは前首席指揮者・井上道義(マチネ27)。一方、桂冠指揮者・大植英次は王道のベートーヴェンプログラムで登場(ソワレ19)。今年もザ・シンフォニーホール40周年記念年。ぜひ一回でも多くホールに足を運んでいただき、その響きに身を浸していただければ、と思います。

- 〈名曲シリーズ〉平日午後の名曲セレクション マチネ・シンフォニーVol.27  
5/10(水) [指揮]井上道義 [クラリネット]ダニエル・オッテンザマー  
ガーシュウィン「バリのアメリカ人」/コブレンツ「クラリネット協奏曲」/  
大栗 裕「大阪俗謡による幻想曲」/伊福部 昭「日本組曲より“益壽”“演伶”“優武多”
  - Le coffre à musique〜音楽の宝箱〜(1)  
6/10(金) [指揮]尾高忠明 [メゾ・ソプラノ]小泉詠子 [バリトン]原田 圭  
[オルガン]大木麻理 [合唱]大阪フィルハーモニー合唱団(合唱指導:福島華奈)  
ベルリオーズ「序曲」/ローマの謝肉祭」/ブーランク「オルガン、弦楽とティンパニのための協奏曲」/  
デュリュフレ「レイエム」
  - 〈名曲シリーズ〉大阪フィル×ザ・シンフォニーホール ソワレ・シンフォニーVol.19  
6/30(木) [指揮]大植英次 [ピアノ]小山実稚恵  
ベートーヴェン「ピアノ協奏曲 第5番 変奏長調 op.73(皇帝)」/交響曲 第7番 変奏長調 op.92
  - Le coffre à musique〜音楽の宝箱〜(2)  
8/25(木) [指揮]尾高忠明  
デュカス「ペリ」/ファンファーレ」/イベル「デュエリ」/ティンパニ  
ビゼー「組曲「アルルの女」(抜粋)」/ドビュッシー「リュシエル」/交響曲「海」
  - 〈名曲シリーズ〉大阪フィル×ザ・シンフォニーホール ソワレ・シンフォニーVol.20  
10/26(水) [指揮]大友直人 [ピアノ]上原彩子  
ベートーヴェン「ピアノ協奏曲 第3番 変奏長調 op.37」/交響曲 第3番 変奏長調 op.55「英雄」
  - 〈名曲シリーズ〉平日午後の名曲セレクション マチネ・シンフォニーVol.28  
11/7(月) [指揮]原田慶太郎  
グリンカ「歌劇「スランとリュドミラ」序曲」/チャイコフスキー「幻想序曲「ロメオとジュリエット」/  
バレエ組曲「眠りの森の美女」/ストラヴィンスキー「バレエ組曲「火の鳥」(1919年版)
  - Le coffre à musique〜音楽の宝箱〜(3)  
11/25(金) [指揮]尾高忠明 [ピアノ]岡田 奏  
ラヴェル「組曲「マメール・ロワ」」/「ダフニスとクロエ」第2組曲/ピアノ協奏曲ト長調/ボロ
- 公演お問い合わせ  
大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890 <https://www.osaka-phil.com>

### 大阪交響楽団

常任指揮者  
山下一史

©ai ueda

#### 指揮者からのメッセージ

明けましておめでとうございます。ザ・シンフォニーホール開館40周年という記念すべき年に、大阪交響楽団の常任指揮者に就任することになりました。5月には長年大切にしてきたR.シュトラウスの作品を皆様にお届けします。ミュージックパートナーの柴田真郁さんはお得意のオペラを演奏会形式で、首席客演指揮者の高橋直史さんは理知的なアプローチでドイツ物を。3人の指揮者が連携を取りながら、それぞれの持ち味を生かして大阪交響楽団に新風を吹き込みます。この素晴らしいホールで、我々のサウンドを紡いでいけることに、今から心がときめいています。

#### ここがポイント

この春、新指揮者3名を迎え、新たな展開を図ります。常任指揮者・山下一史は「R.シュトラウス」シリーズで、「英雄の生涯」を、3年間で目指す方向性を示します。ミュージックパートナー・柴田真郁は「オペラ・演奏会形式」シリーズで、「ルサルカ」を、3年間で3つの作品の演奏会形式に挑みます。首席客演指揮者・高橋直史は毎年タイトルを設定、初年度は「音楽と文学」シリーズで「シェーマン」の春を、以降は「美術」と「舞踏」をテーマに作曲家の精神の謎解きを行います。歌心ある3人の指揮者による競演を、どうぞお見逃しなく。

- 第121回名曲コンサート  
4/30(土) 昼の部 1:30PM / 夜の部 5:00PM  
[指揮]柴田真郁  
ボロディン「歌劇「イーゴリ公」より序曲、"だったん人の娘たちの踊り" "だったん人の踊り" /  
ドヴォルザーク「交響曲 第7番 二長調 op.70
  - 第122回名曲コンサート  
6/18(土) 昼の部 1:30PM / 夜の部 5:00PM  
[指揮]園田隆一郎  
ベートーヴェン「交響曲 第6番 変奏長調 op.68」[田園]
  - 第123回名曲コンサート  
8/21(日) 昼の部 1:30PM / 夜の部 5:00PM  
[指揮]鈴木恵里奈 [ソプラノ]太田尚見♥ [バリトン]大谷圭介◆  
モーツァルト「交響曲 第23番 二長調 K.181(162b) / 演奏会用ARIA「どうぞいよいよいよいよ」 K.78 (73b) ♥ /  
アリエッティ「勝手に口づけすれば」 K.541 ◆ / 歌劇「フィガロの結婚」 K.492より序曲、  
"とろろ嬉しい時が来た〜恋人よ早くここへ" ♥ / "もう飛びまわごの蝶々" ◆ /  
交響曲 第31番 二長調 K.297(300a) [ババ] ほか
  - 第124回名曲コンサート  
11/5(土) 昼の部 1:30PM / 夜の部 5:00PM  
[指揮]山下一史 [サクソフォン四重奏]トルヴェール・フルレット  
長生 淳「サクソフォンフルレットとオーケストラのための協奏曲(Prime-Climb-Drive)」/  
ガーシュウィン「バリのアメリカ人」/ムソルグスキー「ラヴェル編」組曲「展覧会の絵」
  - 第125回名曲コンサート  
2023.1/8(日) 昼の部 1:30PM / 夜の部 5:00PM  
[指揮]高橋直史 [ソプラノ]金岡侑子★  
ヨハン・シュトラウスII 皇帝円舞曲 op.437 / 喜歌劇「こもり」よりアデーレのARIA  
「後継、あんなようなお方は」★ / フリッツ「南風のぼし」 op.388 / 喜歌劇「こもり」より序曲 /  
ホルカ「バレー」序曲 op.332 / 「ピッツカマー」ホルカ / 喜歌劇「こもり」より  
アデーレのワグネル「田舎娘に扮するとき」★ / ボルカ「喜劇と舞臺」 op.324 ほか
- 公演お問い合わせ  
大阪交響楽団 072-226-5522 <http://sym.jp>

※2022-2023シーズンの定期演奏会の詳細はP20~21をチェック!

### 関西フィルハーモニー管弦楽団

首席指揮者  
藤岡幸夫

©SHIN YAMAGISHI

#### 指揮者からのメッセージ

ザ・シンフォニーホール40周年おめでとうございます。40年前に師匠の渡邊暁雄先生の鞭持ちで初めてザ・シンフォニーホールを訪れた時の衝撃たるや! 師匠の指揮姿を見ながら、いつか自分もここで指揮するんだ! と心の中で叫び続けていました。そして今、現役では私がこのホールの最多出演の指揮者となり心底幸せだと実感しております。今年も関西フィルの定期演奏会やサマーポップス、クリスマスファンタジアと楽しみでなりません!

#### ここがポイント

ザ・シンフォニーホール40周年おめでとうございます。40年前の開館時、ホールのオルガンを大々的に響かせた最初の楽団は我々関西フィルだった(82年11月定期、サン＝サーンス/第3交響曲&ブーランク/オルガン協奏曲)。2022シーズン「純情」で、デュメイの圧倒的ソロ、藤岡の衝撃的ニッポン作品、飯守の情熱的チャイコフスキーを、ピュアな気持ちで純粋にお楽しみ頂きたい。

- 第327回定期演奏会 [指揮]下野竜也  
4/29(金・祝) ドヴォルザーク「序曲3部作「自然と人生と愛」」序曲(自然の中で) op.91、  
序曲「謝肉祭」 op.92、序曲「オセロ」 op.93 / 交響曲第6番 二長調 op.60
  - 第328回定期演奏会 [指揮]ジャン＝クロード・カサドシュ  
5/20(金) ウェーバー「歌劇「オベロン」序曲」/メンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲 第2番 変奏長調 op.14  
ラマニア「交響曲」 op.14
  - 第329回定期演奏会 [指揮]藤岡幸夫 [ピアノ]渡邊暁雄  
6/11(土) 松村純三「ピアノ協奏曲 第1番」/ラマニア「交響曲」第3番 変奏長調 op.44
  - 第330回定期演奏会 [指揮]藤岡幸夫 [ソプラノ]内藤里美 [メゾ・ソプラノ]八木寿子  
[テノール]畑 健文 [テノール]久保 亮 [バリトン]池内 馨  
[合唱]関西フィルハーモニー合唱団
  - 7/9(土) シューベルト「交響曲第2番 変奏長調 D.125」/シューベルト「ミサ曲第6番 変奏長調 D.950
  - 第331回定期演奏会 [指揮]マチュー・ヘルツォーク [ヴァイオリン]オーギュスタン・デュメイ  
9/22(木) フランツ・シュミット「歌劇「ノルトラム」開演曲/スメタナ「交響詩「ボヘミアの森と草原より」」/  
バルトーク「ヴァイオリン協奏曲第1番 Sz.36」/シマノフスキー「交響曲第2番 変奏長調 op.19
  - 第332回定期演奏会 [指揮]藤岡幸夫 [ヴァイオリン]岩谷祐之  
10/28(金) 木島由美子「Pleuvoir〜あめふり〜」伊福部 昭「ヴァイオリン協奏曲第2番」/  
貞原一「交響曲」[仏交]
  - 第333回定期演奏会 [指揮]マクシム・エメリヤンチェフ [ヴァイオリン]オーギュスタン・デュメイ  
11/10(木) ベートーヴェン「アテネの晩鐘」序曲 op.113 / プラームス「ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77  
ラマニア「交響曲」 op.45
  - 第334回定期演奏会 [指揮]ヤン・バスカル・トルトルエ [ピアノ]ベテール・ヤブロンスキー  
2023.2/25(土) プロコフィエフ「ピアノ協奏曲第3番 八長調 op.26」/  
ラヴェル「ダフニスとクロエ」全曲(※合唱無し)
  - 第335回定期演奏会 [指揮]坂守泰次郎  
2023.3/30(木) チャイコフスキー「交響曲第5番 変奏長調 op.64」/  
チャイコフスキー「交響曲第5番 変奏長調 op.64」
- 公演お問い合わせ  
関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6115-9911 <https://www.kansaiphil.jp>

### 日本センチュリー交響楽団

首席指揮者  
飯森範親

©山岸 伸

#### 指揮者からのメッセージ

新年明けましておめでとうございます。ザ・シンフォニーホール創立40周年という記念すべき節目のこの年に、この舞台で定期演奏会を行えるのはとても光栄だと思っております。コロナ禍で様々なジャンルが影響を受けるなか、クラシック音楽の火を消さずに継続できたことは心からの感謝の気持ちで一杯です。今年も更に魅力溢れるプログラムをご用意致しました。昨年、私共は新任理事長に桜井博志氏、首席客演指揮者には久石譲氏をお迎え致しました。ミュージックアドバイザーの秋山和慶氏と共に盤石な「センチュリー」をお楽しみ下さい!! 本年も宜しくお願致します。

#### ここがポイント

来シーズンの定期公演は3名の指揮者陣を中心に、例年に増して魅力的なプログラムが揃いました。そして、各演目にお迎えするのは、巨匠デューランキ氏の待望の来日を(はじめ、国際的な評価と人気を兼ね備える話題の気鋭アーティストたちが相押しです!)そして「ハイドンマラソン」では今年も異次元の時をお贈りします。送迎バス無料サービスなど新たな特典付きの定期会員、大募集中です!

- 第263回定期演奏会 [指揮]飯森範親 [ピアノ]デューランキ  
4/21(木) ベートーヴェン「ピアノ協奏曲 第5番 変奏長調 op.73(皇帝)」/  
ブルクナー「交響曲 第1番 八長調 WAB101(1866年リンドン版・ノヴァーク版)
  - 第264回定期演奏会 [指揮]秋山和慶 [ヴァイオリン]辻 彰彦 [ソプラノ]小瀬まきを  
5/14(土) テーリアス「イギリス狂詩曲」/ブルッフ「スコットランド幻想曲 op.46」/  
ヴォーン・ウィリアムズ「交響曲 第3番」[田園交響曲]
  - 第265回定期演奏会 [指揮]カーチン・ウォン [ピアノ]牛田智大  
6/24(金) ショパン「ピアノ協奏曲 第1番 変奏長調 op.11」/  
リムスキー＝コルサコフ「交響組曲「シベリヤ」」 op.35
  - 第266回定期演奏会 [指揮]飯森範親 [サクソフォン]上野耕平  
8/5(金) ヒンデミット「ウェーバーの主題による交響的変奏」/アダム「サクソフォン協奏曲」/  
ヒンデミット「交響曲」[画家マティス]
  - 第267回定期演奏会 [指揮]久石 譲  
9/24(土) シューマン「交響曲 第1番 変奏長調 op.38」春 /  
久石 譲「Dances for Orchestra」(徳版版 世界初演) / スメラ「交響曲 第2番
  - 第268回定期演奏会 [指揮]秋山和慶 [ヴァイオリン]金川真弓  
10/14(金) プロコフィエフ「ピアノ協奏曲第3番」/ロメオとジュリエット」組曲 op.64より /  
プロコフィエフ「ヴァイオリン協奏曲 第2番 二長調 op.63」/  
プロコフィエフ「交響曲 第5番 変奏長調 op.100
  - 第269回定期演奏会 [指揮]飯森範親 [ピアノ]反田恭平 [合唱]日本センチュリー合唱団  
2023.1/13(金) プラームス「哀悼歌」 op.82 / ブルクナー「詩篇 第112番 WAB35」/  
プラームス「ピアノ協奏曲 第1番 二長調 op.15
  - 第270回定期演奏会 [指揮]久石 譲 [合同演奏]九州交響楽団  
2023.2/17(金) 久石 譲「Metaphysica」(交響曲 第3番) /  
ストラヴィンスキー「バレエ音楽「春の祭典」」/マルクス「Danzon」 第2番
  - 第271回定期演奏会 [指揮]川瀬賢太郎 [ヴァイオリン]ティモシー・チューイ  
2023.3/9(木) J.シュトラウスII「皇帝円舞曲」 op.437 / コルンゴルト「ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35」/  
アイネム「フィラデルフィア交響曲」 op.28 / ラヴェル「ラヴァリス
- 公演お問い合わせ  
センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311 <https://www.century-orchestra.jp>

※公演の詳細はP30~31をチェック!

# オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ 2022-2023 Coming Up Concert!!

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラの2022-2023年シーズン定期演奏会。“日本で最も長い歴史と伝統を誇る交響吹奏楽団”の名のもとに、新年度もより多くの音楽ファンに吹奏楽の魅力を伝えるべく、バラエティに富んだステージを届けます!

## Message from Maestro

— 芸術顧問 **秋山和慶**

新年あけましておめでとうございます。指揮者の秋山和慶です。  
私とShionとの関わりも19年目となります来シーズンは、20世紀のアメリカで活躍した作曲家たちの隠れた吹奏楽の名曲をお届けします。  
私の指揮するコンサートは、コーブランドの軽やかな序曲「戸外の序曲」に始まり、カレル・フサの「ブラハ 1968年のための音楽」で締めくくるプログラムです。  
どうぞ皆さん、2022年もザ・シンフォニーホールでShionサウンドをご堪能いただきたいと思います。

## Message from Shion

音楽を愛する皆さんは、吹奏楽の魅力や奥深さを最大限味わったことはありますか?

来年度の定期演奏会は、いわば吹奏楽のフルコース。噛めば噛むほど味がでる定番の名曲から、まだ味わったことがないであろう隠れた名曲までをお届けします。時折顔を出す管弦楽曲のアレンジ版も、あなたをより吹奏楽の世界に惹きつけるスパイスです。  
開館40周年を迎えるザ・シンフォニーホールで、響き豊かなShionサウンドを味わってください。

### 第142回

指揮・作曲 **高昌帥**

色彩豊かな情景が浮かぶ  
定番! オール高昌帥プログラム

2022.4/24(日) 2:00PM

PROGRAM

今、吹き渡る風/ウインドオーケストラのためのナイトフォニー/ウインドオーケストラのためのマインドスケープ/優しい花たちへ/吹奏楽のための協奏曲



### 第143回

指揮 **秋山和慶**

隠れた名曲に心惹かれる  
巨匠秋山和慶の熱きタクト

2022.6/26(日) 2:00PM

PROGRAM

A.コーブランド:戸外の序曲/J.シュワントナー:...そしてどこにも山の姿はない.../K.フサ:ブラハ 1968年のための音楽 ほか



### 第144回

指揮・作曲 **フランコ・チェザリーニ**

Shionの超絶技巧が光る!  
感動を呼ぶチェザリーニ作品

2022.9/25(日) 2:00PM

PROGRAM

交響詩「アルプスの詩」op.21a/ビザンティンのモザイク画 op.14/交響曲 第3番 op.55「都市の風景」



### 第145回

指揮 **飯森範親**

長編交響曲と吹奏楽曲大作  
Shionの新たなチャレンジ

2022.11/20(日) 2:00PM

PROGRAM

D.マスランカ:交響曲 第5番/長生 淳:交響曲 第3番「四季連祷」



### 第146回

指揮 **ダグラス・ポストック**

みんな大好き! めくるめくホルストの  
名曲を一挙演奏!

2023.1/28(土) 2:00PM

PROGRAM

G.ホルスト:吹奏楽のための第1組曲 変ホ長調 op.28-1/2つの無言歌 op.22-第2曲「行進の歌」/組曲「惑星」 op.32(全曲) ほか



### 第147回

指揮・作曲 **宮川彬良**

宮川ワールド全開で届ける!  
変幻自在の展開で圧倒!

2023.3/18(土) 2:00PM

PROGRAM

宮川彬良序曲集/バラエティ組曲「盤上の敵」交響曲「私のお気に入り」 ほか



年間定期会員(マイシート 年間6公演) S 19,800円 A 17,800円 B 14,800円 (税込)

上期・下期定期会員(マイシート 各3公演) S 12,000円 A 10,200円 B 8,100円 (税込)

(お申込みは、Shionチケットセンターまで)

[1回券] S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円 C 1,500円 ベア 7,000円 (税込) 学割(S、A、Bより1000円引)

※マイシートプラン、C席、ベア席、学割はShionチケットセンターのみの販売です

[ご予約] Shionチケットセンター 0800-919-5508 / ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問い合わせ] Shionチケットセンター 0800-919-5508 (土日祝を除く10:00~17:30)

[主催] 公益社団法人 大阪市音楽団



# マルティン・ガルシア・ガルシア

## ピアノ・リサイタル

### Martin Garcia Garcia

息の長いメロディラインと  
独自のなシヨパンの解釈

日本人ピアニストたちの活躍もあり、国内でも大きな話題を呼んだ、第18回シヨパン国際ピアノ・コンクール。世界中のピアノファンがコンクールに注目していた中、予選からその情感豊かな演奏が人気を集め、最終的に見事第3位に入賞、あわせてコンチエルト賞も受賞したが、マルティン・ガルシア・ガルシアだ。

1993年スペイン生まれ。マドリッドで学んだのち、ニューヨークのマネス音楽大学で、名ピアニスト、ジェローム・ローズ

のもと研鑽を積んだ。シヨパン国際ピアノコンクール直前の8月には、アメリカのクリーヴランド国際ピアノコンクールで優勝。主要コンクールでの快挙が続く形となった。

ガルシア・ガルシアは、この5月に日本で初のソロ・リサイタルを開く。プログラムは、もちろん、オール・シヨパン。コンクールのステージで弾いたレパートリーを中心としたものだ。

ガルシア・ガルシアの音楽表現の最も大きな美点は、息の長いメロディを思い切った歌い上げる、そのたつぷりとしたカンタービレ

の心にあるだろう。

シヨパンの作品を弾く上で、歌心は欠かせない。コンクールでは、その歌のイメージを創り上げるべく、自らも歌を口ずさみながら奏であげたバラード第1番や第3番が強いインパクトを残した。今度のリサイタルではその両方を演奏してくれる。もう一つの彼の魅力である、輝かしく力強い音が存分に活かされた、ポロネーズ第6番「英雄」も聴きものだ。

「24のプレリュード」から3曲を抜粋、そこからピアノ・ソナタ第3番という流れは、ご本人曰く「何かが起きそうだ」という余韻を残して終わるプレリュード第23番からソナタに入る」という、コンクールでも披露したこだわりのプログラム。独自のなシヨパンの解釈を届ける。

ガルシア・ガルシアの演奏姿からは、音楽に没頭し、その世界を心から楽しんでいることが伝わってくる。実際彼は、「たくさん練習を重ね、長く音楽の中に入り続けていると、音楽とはもはや源からただ自然と生まれてくるもので、それを目撃しているだけという気持ちになる。自分がピアノの前に座っているという感覚すらなくなってしまう」と語る。

私たちも今度のリサイタルでは、ピアノとガルシア・ガルシア

の体を通し、シヨパンの生き生きとした音楽が再生される瞬間を目撃することになるかもしれない。

(文 高坂はる香)



#### [ピアノ]マルティン・ガルシア・ガルシア

##### オール・シヨパン・プログラム

バラード第1番 ト短調 op.23 / 即興曲 第3番 変ト長調 op.51 / バラード 第3番 変イ長調 op.47 / ノクターン 第7番 嬰ハ短調 op.27-1 / ホロネーズ 第6番 変イ長調 op.53  
「英雄」 / 3つのマズルカ op.50 / 24の前奏曲 op.28より 第17番 変イ長調、第19番 変ホ長調、第23番 ヘ長調 / ピアノ・ソナタ 第3番 口短調 op.58

2022.5/28(土) 2:00PM

全席指定 4,000円 (税込)

[お問い合わせ] 日本アーティストチケットセンター 03-5305-4545

[主催] 日本アーティスト / ザ・シンフォニーホール

先行予約: 1/20(木) 一般発売: 1/23(日)

## ライト・シンフォニックコンサートとは？

ザ・シンフォニーホールと大阪交響楽団がタッグを組み、ザ・シンフォニーホール開館35周年イヤーの2017年にスタート。普段、クラシック音楽に接する機会が少ない大人。の音楽ファンにとって、ライト(気軽)に楽しむことができる贅沢な空間になればと企画された人気シリーズ。これまで、川井郁子、村治奏一、三浦一馬といった実力派がゲストとして登場。岡 幸二郎は昨年に続き2度目のゲスト出演となる。



大阪交響楽団

劇的なオープニングもありかも  
…迷いますね(笑)

今回のプログラムも珠玉の王道ナンバーが目白押し。きつとオープニング曲から聴き逃さないはず。

「君住む街」は大地真央さんと共演した『マイフェアレディ』からの陽気なナンバー。ミディアム・テンポで、皆さんも大好きな曲なので1曲目にはびったりです。でも、新たな人生の旅立ちを歌った『ジキル&ハイド』からのバラード(ア・ニューライフ)で劇的なオープニングもあり、かも迷いますね(笑)。お楽しみに!



【指揮】横山 奏 【ゲスト】岡 幸二郎 【管弦楽】大阪交響楽団

『マイフェアレディ』より君住む街/『ラ・マンチャの男』より見果てぬ夢/『サンセット大通り』よりアズ・イフ・ウィー・ネバー・セッド・グッバイ/『ジキル&ハイド』よりア・ニューライフ/『レ・ミゼラブル』より夢やぶれて/『ミス・サイゴン』より命をあげよう/『オペラ座の怪人』よりミュージック・オブ・ザ・ナイト ほか

2022.5/21(土) 2:00PM  
S 8,000円 A 6,000円 プラチナ 10,000円 (税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニーチケットセンター 06-6453-2333  
【主催】ザ・シンフォニーホール/公益社団法人大阪交響楽団

発売中

ハリウッドの内幕を描いた1950年の傑作映画を天才アンドリュース・ロイド・ウェバーが完全ミュージカル化した『サンセット大通り』からのナンバーにも注目。『アズ・イフ・ウィー・ネバー・セッド・グッバイ』は忘れられたサイレント映画時代の女優ノーマ・デズモンドがクライマックスで歌う劇中きつめの看板ソングだが、岡の歌う日本語版では歌詞の世界が「映画」から「舞台」に置き換えられているのも聴きどころだ。

「グレン・クロוזがノーマを演じた舞台を口で観ましたが、本当に感動しました!でも僕のために忠の仁さんが書き下ろしてくれた歌詞も素晴らしい。とても歌いやすく覚えやすかった」

十八番の『オペラ座の怪人』(ミュージック・オブ・ザ・ナイト)は想い入れの強い特別な曲だ。「劇団四季の舞台を何回観たことか?でもやはり学生時代に観た、市村正親さん(怪人) & 山口祐一郎さん(ラウル)による初演のイメージが鮮烈。なので怪人のナンバーを歌うと僕の中のどこかに絶対、市村さんがいるんです。そういうことってありますね、自分では意識していませんが、例えば以前エポニーヌ(レ・ミゼラブル)のキラリチューン(オン・マイ・アウツ)を歌ったらファンの方に、ブレスのタイミングやフレーズに本田美奈子さんを感ずる。って言われて嬉しかった。美奈子とは同じ年で、とても親しかったので。そういう意味では今回とりあげる『ミス・サイゴン』(命をあげよう)も彼女とは切っても切り離せないナンバーなので、しっかり歌い上げないと美奈子に笑われてしまいますね、頑張ります!どうかご期待ください」

(取材・文 東端哲也)

# 岡幸二郎

ミュージカル界のスターが再光臨!  
圧巻のパフォーマンスで魅了する

Interview



撮影:キセキミチコ

# ライト・シンフォニック コンサート ～大人の贅沢～

ザ・シンフォニーホールの本シリーズに  
ミュージカル俳優の岡 幸二郎が2年連続で登場!  
前回大好評を博したステージと  
大阪交響楽団とのコラボレーションが再び!

大阪交響楽団はとても  
気持ちよく歌わせてくれる



振り返ればデビュー25周年を迎えた2014年、50名ものオーケストラをバックにして25曲の名ナンバーを日本語で歌い上げた決定盤『ベスト・オブ・ミュージカル』をリリースし、シーンに衝撃を与えた岡 幸二郎。その後、このスタイルはトップ・スターである彼の定番となり、各地で同様のコンサート公演を成功させてきた。

「CDの発売からもう7年になるんですね!最初の頃は背後から迫ってくるオーケストラ・サウンドの「圧」に押しつぶされたいよう受け止めるのに必死でヘトヘトになって、ほぼ1曲ごとに水を飲まずにはいられませんでした。今はリラックスしてステージに立てるまでに成長しました」

「ライト・シンフォニックコンサート」には今回で2回目の登場。大阪交響楽団ともすでに共演済み

「毎回クラシックの曲をプログレッシブ・ロックなど、激しいリズムのアレンジにしたり、弦楽四重奏の曲をジャズアレンジにしたり。さらには毎年リリースされている古澤さんの新譜からの曲をアレンジして演奏をしています。もちろん打ち込みで作った伴奏は一切なく、すべて生演奏だから逆に120%のチカラで挑んでいます」

その言葉どおり、想像の上の上をいくコラボレーションを実現するのが、古澤さんとTSHBB。「初日から4回目の共演までは、演奏曲が1度も被ることがなかった



Interview

トランペット 菊池寿人

演から今回で6度目となる。菊池は、古澤について、「いわずと知れた日本が世界に誇る名手でスタープレイヤーでありながら、常に新しいことを考えて挑み、次を見据えている方。古澤さんとの公演は常にチャレンジです」と話す。

「毎回クラシックの曲をプログレッシブ・ロックなど、激しいリズムのアレンジにしたり、弦楽四重奏の曲をジャズアレンジにしたり。さらには毎年リリースされている古澤さんの新譜からの曲をアレンジして演奏をしています。もちろん打ち込みで作った伴奏は一切なく、すべて生演奏だから逆に120%のチカラで挑んでいます」

その言葉どおり、想像の上の上をいくコラボレーションを実現するのが、古澤さんとTSHBB。「初日から4回目の共演までは、演奏曲が1度も被ることがなかった



古澤 巖とTSHBBの2020年7月20日のコンサートの様子。この日は「ラテン」をテーマにステージを繰り広げた。

[スペシャル・ゲスト]古澤 巖(ヴァイオリン)  
[演奏]The Symphony Hall Big Band

ロベルト・ディ・マリーノ:マリーノコンチェルト 第6番「海」より/  
セプテンバー/ダンシング・クイーン/マンマ・ミーア!/スティー  
ヴィー・ワンダー・メドレー ほか

2022.5/12(木) 7:00PM  
全席指定 7,500円(税込)  
[お問い合わせ]大阪アートエージェンシー 072-648-3852  
[主催]ザ・シンフォニーホール  
先行予約:1/20(木) 一般発売:1/23(日)



コロナ前の2019年10月3日のコンサート。コンサート後はお客様から鳴り止まない拍手が起こり、大盛り上がりとなった。

たんです。つまり、前回この曲をやったから、今回も同じ曲をやる、とはならなかった。毎回新しい曲をコラボレーションしていただくのは正直もったいないと感じることもありましたけど(笑)、だからこそ、来場してくれたお客さんにとってはレアですよ。前回のコンサートでは、過去に共演した曲も演奏したんですが、毎回スペシャルショーですよ。まさに、ここでしか聴けない音楽。古澤さんとTSHBBとじゃないと、この曲をこんなふうに聴けない、という音楽です」

キラキラと光が射すように、世界中を元気づけてきた音楽

気になる今回のテーマは、ディスコ。「セプテンバー」や「ダンシング・クイーン」など、王道ナンバーが並ぶ。

「ジャズとディスコ。発祥の時代は違いますが、どちらも、ダンスホールで流れている音楽という同じ背景があります。ディスコは、戦後の経済不況にキラキラと光が射すように、世界中を元気づけてきた音楽。年代、国境、人種、すべての垣根を取っ払ってみんな盛り上げようと元気づけてきた音楽ですよ。今、コロナの終息がまだまだ見えない状況なので、前回の公演とはまた違っ

たカタチで元気を届けたい。古澤さんとのコラボレーションではとっておきのナンバーも用意しているの、共演を是非楽しみにしてください。TSHBBならではの面白く、楽しいアレンジで挑みます」

最後に次回の公演も楽しみにしてください。お客様にはこうメッセージを届ける。

「今回もお客様に元気をお届けすることを前提にしています。ザ・シンフォニーホールがダンスホールに変わるようなステージ

にしたいですね。踊りだしたくなるような、明るくて楽しくて、キラキラした音楽。皆様にパワーをお届けするように、今回もスペシャルなステージを作り上げるので、体中で受け止めて、思う存分楽しんでほしいですね」

# The Symphony Hall Big Band Vol.17

~Music Director 菊池寿人~

## DISCO

スペシャルゲスト 古澤 巖 (ヴァイオリン)

ヴァイオリニスト 古澤 巖との共演再び! まさに“ここでしか聴けない”コラボレーション!

The Symphony Hall Big Bandが次回公演を早くも発表! ヴァイオリニスト 古澤 巖を迎え、6回目の共演! ファンの期待も高まる今回の公演について、ミュージックディレクターの菊池寿人にインタビュー。



僕たちの方こそお客様から元気をもらえた

「1年半ぶり、メンバー緊急招集」で行われたコンサート(2021年12月4日)では、お客様に元気を与えたい!という一心で、皆が喜んでくれるようなプログラムとパフォーマンスで挑みました。まだまだ声を出したり立ち上がったりは出来ないけれど、お客さんがノリノリで楽しんでくれて、熱気が伝わってきて、僕たちの方こそお客さんから元気をもらいました。久しぶりにスカッとした(いい意味で)おなかいっぱいになった!というありがたい言葉も頂いて。たくさんのお客さんに喜んでもらえたので、次につながるコンサートになったと思います!」

12月に開催されたばかりのコンサートについて、The Symphony Hall Big Band(以下TSHBB)のミュージックディレクター・菊池寿人(トランペット)は嬉しそうに感想を語る。

毎回スペシャルショー。ここでしか聴けない音楽

そして、その成功を収めたコンサートで次回Vol.17の開催を発表!スペシャルゲストに古澤巖を迎える。

古澤 巖とは2016年の初共



ヴァイオリン 石田泰尚



ピアノ 山田武彦



ギター 大坪純平



コントラバス 黒木岩寿

「作曲者の自作自演の録音がた  
今回はピアノ自身が考案し  
たタンゴの五重奏（キンテート）  
の編成により、「ブエノスアイレ  
スの冬」などの名作に加え、半数  
以上が初お披露目というザ・シン  
フォニーホールのための特別プロ  
グラム。編曲は三浦自身だ。

「表現のレンジがものすごく広  
くて、超低音から大音量まで、グ  
ラデーションの幅が大変大きいで  
す。また鳴りが全然違いますね。  
この楽器と出会って、自分の演奏  
がさらに深化したように思いま  
す。癖が強く、じゃじゃ馬のよう  
なところもありますが、楽器から  
教えられ、導かれているような感  
じです」

「大阪のみなさんには、いつも  
あたたかく迎えていただいで感謝  
しています。熱狂のタンゴ」は  
特別な思いがこもったプログラム  
ですので、「一緒に素晴らしい時  
間を共有するのが、今から待ち  
遠しいです」  
（取材・文 伊藤制子）

くさん残っていますので、それら  
を参考にしながら、編曲していま  
す。タンゴは即興性が高く、ピア  
ソラ自身の楽譜にもすべては記  
譜されていないので、録音が原典  
のようなものですね。今回はこ  
うした録音を元に、オリジナルに  
忠実な編曲を心がけています。メ  
ンバーの中で、ヴァイオリンの石  
田泰尚さん、コントラバスの黒木  
岩寿さんは、神奈川フィルでの初  
共演以来、一緒にしています。ピ  
アノの山田武彦さんは、ニーノ・  
ロータ特集の演奏会で共演して  
からのおつきあい。ギターの太坪  
純平さんも、2011年からずっ  
とキンテートに参加していただい  
ています。キンテートは究極の編  
成で、音響のバランスがよく、完  
成度が高くて隙のないところが  
特徴だと思っています。低重心のサウ  
ンドとでもいえるでしょうか。低  
音をしっかりと支えてもらうなか、  
バンドネオンやヴァイオリンが綺  
麗に響くイメージですね。今はク

ラシック・シーンの方と共演する  
ことが多いのですが、僕自身、ク  
ラシックの語法がしっくりきま  
すね」

「やっぱり客席と舞台の距離が  
近く、親密さがあるのが特徴で  
すね。奥の客席にいくにつれ空間  
がぐっと広がっていく感じで、演  
奏していると、音がホールを回っ  
ていくような感覚になります。大  
阪では粉ものを食べるのも楽し  
みのひとつです。ホール近くにも  
美味しいお店があるんですよ。ま  
た、大阪駅前ビルも、食べたり買  
い物したりできるお気に入りの場  
所ですね」



バンドネオン 三浦馬

「使用しているのは、恩師ネ  
ストル・マルコーニから譲りうけ  
たアルフレッド・アーノルド社製  
のもので、7キロぐらいあります。  
楽器は利き足（三浦は右）におい  
て弾くことが多いのですが、両  
足を使うこともあります。右手  
が高音、左手が低音を担当。右  
側にあるスピーカーから音が出ま  
す。左側には蓋がついており、そ  
こを叩くのも技法のひとつです  
ので、ぜひ弾いている姿にもご注  
目ください。バンドネオンは現在で

「大阪のみなさんには、いつも  
あたたかく迎えていただいで感謝  
しています。熱狂のタンゴ」は  
特別な思いがこもったプログラム  
ですので、「一緒に素晴らしい時  
間を共有するのが、今から待ち  
遠しいです」  
（取材・文 伊藤制子）

「大阪のみなさんには、いつも  
あたたかく迎えていただいで感謝  
しています。熱狂のタンゴ」は  
特別な思いがこもったプログラム  
ですので、「一緒に素晴らしい時  
間を共有するのが、今から待ち  
遠しいです」  
（取材・文 伊藤制子）



ピアノ没後30周年記念プロジェクト

# 三浦一馬 キンテート 2022 熱狂のタンゴ

Interview

今、全国のファンを魅了している  
三浦一馬キンテートが  
ザ・シンフォニーホールを  
熱狂へ導く！

撮影 鈴木久美子

バンドネオン、ピアノ、ヴァイオリン、ギター、コントラバスという、  
アストル・ピアノが生涯に渡りこだわり続けた編成で、タンゴファンのみならず、  
聴くものすべてを惹きつける三浦一馬キンテート。  
キンテートとしては約3年半ぶりとなるステージについて、話を聞きました！

「大阪は人も街も大好き。今で  
も大阪を訪れると胸がときめき  
ます」と熱烈な「大阪愛」を口  
にしてくれた三浦。まずは、バ  
ンドネオンについてもっと知りた  
い」という Sinfonia 読者  
の要望にこたえて、取材冒頭でまず  
バンドネオンについて詳しく説明  
してくれた。

「今使用しているのは、恩師ネ  
ストル・マルコーニから譲りうけ  
たアルフレッド・アーノルド社製  
のもので、7キロぐらいあります。  
楽器は利き足（三浦は右）におい  
て弾くことが多いのですが、両  
足を使うこともあります。右手  
が高音、左手が低音を担当。右  
側にあるスピーカーから音が出ま  
す。左側には蓋がついており、そ  
こを叩くのも技法のひとつです  
ので、ぜひ弾いている姿にもご注  
目ください。バンドネオンは現在で

ぜひ弾いている姿にも  
注目ください  
楽器を手にすると佇む姿には思  
わず目を奪われる。最近染めたと  
いうグレーの上品な髪がよく映え  
るバンドネオン奏者の三浦一馬。  
ザ・シンフォニーホールには毎年  
登場し、大阪のお客様にはお馴染  
みの三浦が、自ら率いるキンテー  
ト（五重奏）でステージへ。熱  
狂のタンゴ」と題してオール・ピ  
アソラ・プログラムを演奏する。

[バンドネオン]三浦一馬 [ヴァイオリン]石田泰尚  
[コントラバス]黒木岩寿 [ギター]大坪純平 [ピアノ]山田武彦

デカリシモ/フーガ9/ブエノスアイレスの冬/ブエノスアイレスの夏/ブエノ  
スアイレスの秋/ブエノスアイレスの春/現実との3分間/ルンファルド/レビラド  
/カリエンテ/ミケランジェロ'70/悪魔のロマンス/ムムキ

2022.5/8(日) 2:00PM  
全席指定 5,500円 (税込)  
[お問い合わせ] Mitt 03-6265-3201  
[主催] 日本コロムビア株式会社/ザ・シンフォニーホール

発売中



夏恒例! 大人気シリーズ!  
イタリアからの  
新鋭オルガニスト登場!

毎年豊かな実力派を迎える  
オルガンコンサート

ザ・シンフォニーホールが誇る、スイス・クーン社製の豊麗でクリアな音色のパイプオルガン。3732本ものパイプを持つ本格的な銘器で、ルネサンスから近現代までの幅広い音楽を演奏できるのが魅力になっている。その性能を最高の音響空間で満喫できる夏の恒例企画として定着しているのが、「真夏のオルガンコンサート」だ。毎年個性豊かな実力派を迎えて好評を博してきたが、今年は、1995年イタリア生まれの俊才ニコラ・プロカッチーニが登場する!

母国だけでなく、オルガンの本場ドイツとフランスでも研鑽を積んだ彼は、2017年のアガティートロンチ国際オルガンコンクール第2位を経て、2018年の難関ブクステフーデ国際オルガンコンクールで見事優勝。現在は世界各地の著名な国際音楽祭でも活躍中だが2021年に札幌コンサートホールKitaraの第22代専属オルガニストに就任したことで、知名度を一気に高めている。なお、Kitaraの大ホールにはフランスのアルフレッド・ケルン社が製造した美しく凛としたパイプオルガンが聳え立っており、ザ・シンフォニーホールと同

第22代札幌コンサートホール  
専属オルガニスト  
ニコラ・プロカッチーニ



様に様々なオルガン公演を企画。そうした経緯から大阪と札幌の2ホールは長年交流を深めており、このシリーズでは過去にKitaraの専属オルガニストを2度招いて大成功を収めてきた(逆にKitaraでも、ザ・シンフォニーホールの特別協力で、名物企画である「パイプオルガン×プロジェクションマッピング」公演を過去に2度行っている)。

今回も名曲揃いのオール・バッハ・プログラム。「前奏曲とフーガBWV535」「小フーガBWV578」「幻想曲BWV572」といったおなじみの荘厳なナンバー。曲名は同じで、いずれも晴れやかで輝かしい曲想だが、巧みに異なる装いを見せるBWV676&

663の「いと高きところにいます神にのみ栄光あれ」など、自らも高名なオルガニストだった。音楽の父、バッハの醍醐味を存分に味わえるラインナップになっているのが嬉しい。

それを知的で変幻自在な超絶技巧を持ち味とするプロカッチーニの妙技で味わえる今回の公演。弾き慣れたフランス製のオルガンからスイス製に換えて臨むことになり。そんなオルガン界の若き貴公子が大阪のクラシックの殿堂で繰り広げる新疾走に大きな期待と注目が集まる!

(文 渡辺謙太郎)

#### [オルガン]ニコラ・プロカッチーニ

J.S.バッハ 前奏曲とフーガ ト短調 BWV 535 / いと高きところにいます神にのみ栄光あれ BWV 676 / フーガ ト短調 「小フーガ」 BWV 578 / パピロン川のほとりに BWV 653b / トリオソナタ第5番 ハ長調 BWV 529 / いと高きところにいます神にのみ栄光あれ BWV 663 / フーガ ハ短調 BWV 575 / 汝イエスよ、いま天より降りたもうや BWV 650 / 幻想曲 ト長調 BWV 572

2022.7/30(土) 2:00PM 休憩なし。約60分のコンサートです。

全席指定 3,000円 (税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約:1/20(木) 一般発売:1/23(日)



恒例の  
6月

山響音

さくらんぼコンサート

## 創立50周年を迎えた山響… “Soloistic”を掲げ、阪哲朗と大阪公演に臨む



2020年3月14日 無観客ライブ配信より

1972年、創立指揮者村川千秋の情熱が多くの人々の心を動かし、山響は生まれた。人口105万人の山形県(本拠地山形市は25万人)に育まれた山響は、延べ300万人の子どもたちに音楽を届けてきた。創立50周年、常任指揮者就任4年目を迎える阪が、Soloisticをテーマに編成した50周年記念定期シリーズ「全ての演奏会に協奏曲的作品を組み込み、管弦楽曲でもハーモニーはもちろん、メンバーの磨かれたSoloisticな一面を高めていく演出を選びました。オペラもそうですね。」と、阪は語る。

恒例の大阪公演では、正に“Soloistic”と題した第301回定期の演目を再演する。1943年、第2次大戦の最中に作曲されたバルトーク作曲「管弦楽のための協奏曲」は、現代のオーケストラスタンダード作品と称される20世紀管弦楽曲最高傑作の一つだ。同時に、メンバーの妙技が紡ぐSoloisticな魅力に溢れている。独特の美しいメロディを描く山形在住の作曲家木島由美子の委嘱作。定期で世界初演後早くも大阪・東京で再演する。長く愛される作品が生まれるかもしれない。

2019年山響常任指揮者に就任以来、毎年ザ・シンフォニーホールで公演を行う(2020年はコロナ禍で中止)。「ほんとに大好きなホール」と、想いを語る阪。「楽譜の縦の線を合わせるだけが正解じゃない。歌うこと、横に流すことで生まれる面白さや遊び心を大切にしたい」。就任から3年。2021年11月定期のブラームスでは、枠を意識しない音楽が流れだした!と、確かな手応えを感じる。両者の蜜月を感じる舞台となるだろう。

**Museに愛された神尾真由子の「スペイン交響曲」**

2020年3月14日コロナ禍で行われた山響初の無観客ライブ配信の舞台では、神尾真由子が独奏を務めた。神尾真由子は圧倒的な技巧と色彩感でスペイン交響曲(全5楽章)を描く。大阪から世界へと羽ばたいた神尾。1998年11月に関西フィル定期で12歳の神尾が演奏したのが「スペイン交響曲」だった。

**常任指揮者就任披露公演以来、ザ・シンフォニーホールの舞台上に**

「さくらんぼコンサート」恒例!  
来場者全員へ山形県産  
「さくらんぼ」プレゼント!

創立50周年と同時  
に大阪公演第10  
回の記念ともなる本  
公演(2020年が  
中止だったため)。毎  
回恒例、来場者全員  
に山形県東根市産の  
「さくらんぼ」がプレ  
ゼントされる。山響  
公演の風物詩「山形  
物産展」もコロナの影響を考慮しながら、開  
催を予定している。コロナ禍を機に音楽&山  
形の魅力を映像制作し発信する山響は、  
「世界と山形を結びと意気込む。この大阪  
公演で開催される物産展は、山形の魅力を  
直に体験する格好の機会となるだろう。」  
「さくらんぼコンサート大阪公演」を機に、  
山形を旅してみたいかなるかもしれない。



さくらんぼコンサート2022 大阪公演

[指揮] 阪 哲朗 [ヴァイオリン] 神尾 真由子

木島由美子: 山響創立50周年記念委嘱作品

ラロ: スペイン交響曲 作品21

バルトーク: 管弦楽のための協奏曲 BB 123

2022.6/23(木) 7:00PM

S 5,100円 A 4,100円 B 3,100円 (税込)

[ご予約]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ]山響チケットサービス 023-616-6607

[主催]公益社団法人 山形交響楽協会/ザ・シンフォニーホール

一般発売: 1/24(月)

山形交響楽団映像配信のご案内

クラシック専門  
ライブストリーミングプラットフォーム  
「CURTAIN CALL」

<https://curtaincall.media/yamakyo>

山形交響楽団公式 YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/c/YamagataSymphonyOrchestra>



# 硬派弦楽アンサンブル「石田組」

Interview

ヴァイオリン

## 石田泰尚



## 超ド級の演奏でクラシック・シーンを席卷する「石田組」がついに大阪に初上陸!

ヴァイオリニスト 石田泰尚が結成した硬派弦楽アンサンブル「石田組」がついにザ・シンフォニーホールに登場する。精鋭12名を率いて、クラシックの名曲から名作映画音楽、ロックナンバーまで、“超ド級”の演奏で大阪のファンを魅了する。



響きもお客さんの反応も大好きなホール

神奈川フィルハーモニー管弦楽団の首席ソロ・コンサートマスターや京都市交響楽団の特別客演コンサートマスターを務めつつ、ソロや様々なユニットで活躍しカリスマ的人気を集めるヴァイオリニスト。ザ・シンフォニーホールにも、バンドネオン奏者の三浦一馬が率いるキンテートや東京グラランド・ソロイストの一員として登場。昨年7月にブラームスやグリーグのソナタを演奏した鮮烈なソロ公演も記憶に新しい。

しかし意外にも、石田組として本ホールのステージに立つのは今度が初めてだという。

「全然、避けていたわけじゃないんですよ(笑)、響きもそうずしお客さんの反応も大好きなホールです。大阪での公演自体が、初



なんです」

### 野郎ばっかり。リハーサルの時から男子校のノリ

巷では「硬派」というフレーズで評判の石田組は男性演奏者のみで構成された弦楽アンサンブル。2014年の正式結成以来、クラシック・シーンを席巻してきたドリム・チームだ。

「当時、自分が所属していた楽団のオーボエ奏者の方からの依頼で、CDのレコーディング用にストリングスのメンバーを敢えて男だけで揃えてみたら、スタジオの中の風景が何とも壮観でカッコイイなと思ったんです。それをきっかけにして活動を始めてみたら、野郎ばっかりなのでリハーサルの時から男子校のノりで楽しい(笑)。お互いに何でも話せるし、自分が多

少厳しいこと言っても平気(笑)。「硬派」というキャッチは横浜みなとみらいホールでの公演で、企画担当の方が考えてくれたものを、そのまま気に入って使わせていただいています」

### 大阪にゆかりのあるメンバーを集めました

通常13名のメンバーは流動的。これまで参加したことのあるプレイヤーはトータルで50名を超えるという。

「入れてください」って来てくれた人も、僕の方から声をかけた人もいる。どんな大所帯になってもだんだん12人を選ぶのが難しくなってきました。最近呼んでくれないですね。なんて言われるとツライですね。今回は何となく大阪にゆかりのあるメンバーを集めま

した。例えば広島交響楽団の第1コンマスである佐久間(聡一)は以前、大阪フィルの首席奏者だったので、真っ先に声をかけたり、そんなふうに固めていって…後はもう直感です!」

### お客さんに喜んでもらうことが我々のコンセプト

精鋭たちによる清々しいプレイと共に、バラエティに富んだ選曲もこのアンサンブルの魅力。

「5月の公演は石田組として、王道のプログラムで臨みます。クラシックの名旋律から《バック・トゥ・ザ・フューチャー》やチャップリン作品などの映画音楽、ストーンズやティン・パパーンなどのロック・ナンバーまで、色々なジャンルを取り揃えてお客さんに喜んでもらうのが我々のコンセ

プト。初めての大阪公演だからこそ、これまでずっとやってきたことで勝負したいですね」

演奏も、超ド級。だが、遠くからでも石田とわかる。こだわり、のフアッションでも目を惹く。

「目立つ服装だけど、単にいいなと思うものを着ているだけ。迷わず、自分らしく。が信条。演奏も同じで、オーケストラの時もアンサンブルでもソロでも変わらない。ただそれぞれで果たす役割が違うだけです。僕としては、お客さんにももちろんのこと乗り合わせたメンバー全員に楽しんで欲しいんです。そのための雰囲気作りにも努めています」

### 誰よりも自分がいちばんワクワクしています

最後に公演を楽しみにしているお客様へのメッセージを伺うと。

「ずっとザ・シンフォニーホールでやりたかったんで、誰よりも自分がいちばんワクワクしています。とにかくメンバーそれぞれが素晴らしいと聴かせどころもたっぷり。初めての方でも絶対に楽しんでいただけると思うので、どうぞご期待ください。コロナ禍でまだまだ先が見えない世の中ですが、どんな時でもできることをやるだけ。来年もすくいい年にしたいです!」

(取材・文 東端哲也)



[ヴァイオリン]石田泰尚、佐久間聡一、塩田 脩、ビルマン聡平、丹羽洋輔、竹内 弦  
[ヴィオラ]中村洋乃理、萩谷金太郎、鈴木大樹  
[チェロ]辻本 玲、門脇大樹、大宮理人 [コントラバス]米長幸一

ホルスト:セントポール組曲/レスピーギ:リュートのための古風な舞曲とアリア第三組曲/バルトーク(ヴィルナー編曲):ルーマニア民族舞曲/シルヴェストリ(松岡あさひ編曲):バック・トゥ・ザ・フューチャー/チャップリン(松岡あさひ編曲):スマイル/レインボー(近藤和明編曲):スターゲイザー/ローリング・ストーンズ(松岡あさひ編曲):悲しみのアンジー/ティン・パパーン(近藤和明編曲):紫の炎

2022.5/3(火・祝) 2:00PM  
S 6,600円 A 5,500円 B 4,400円 学生券(25歳以下) 2,000円(税込)  
[お問い合わせ]キーワード-インフォメーション 0570-200-888  
[主催]キーワード-大阪/キーワード-東京 先行予約:1/20(木) 一般発売:1/29(土)



高橋直史も、練習後の楽屋にやってきました。大阪響の楽団員と議論した経験がある。「もう10年くらい大阪響で指揮をしています、音楽上のコミュニケーションを通じて、私も高められますね。楽団員1人1人が個性豊かで、大阪響サウンドの強烈なイメージをもつ

◆**コミュニケーションで高め合える関係——高橋直史**

「オペラでもおなじみの顔だ。」「若い頃から大阪響のリハーサルに副指揮者として立ち会って、充実したオペラのサウンドに魅力を感じていました。2012年に初めて本番の指揮者として呼んでもらった時に、楽団員は『楽譜ばかり見ないで』と厳しかったですね。指揮者の表情、呼吸、全身から伝わる空気感までも求めてくれていたと気づかされて、本当に鍛えられました。だからミュージックパートナーに、と言っていたら嬉しかったですね」と振り返る。

◆**三者三様のサウンド創りが使命**  
定期演奏会トップバッターの山下は、名刺代わりにリヒャルト・シュトラウスを選んだ。「オーケストラの魅力は100%知っていて、

「ここまですなずきながら聞いていた山下が、パーッと明るい笑顔になってこう語った。「3人も同じ志でいることがわかりました。嬉しいなあ。大阪には四つのオーケストラがありますが、僕たちの使命は独自のサウンドを創ること。ポストを与えられた指揮者は思い描く理想の線に、一つの演奏会で最良の結果を出して『点』を置く作業をしなくてはならない。『楽しくやろうよ』ではなく、音楽的に厳しい要求が合える関係にならなくてはならない。この3人ならば、それが出来るような気がしています」

「僕がこの中で一番大阪響を指揮していないんですよ。だから常任指揮者が山下で、大阪響ファンはびっくりしたと思いますが、もっと驚いたのは僕かもしれないですね。昨年春に2度、久しぶりに大阪響の指揮をして密度の高いコンサートになりました。オーケストラの力のたまものです。3年の任期で、三者三様のサウンドを創りたいですね。山下一史は身振り手振りを交え、高い熱量で語る。九州交響楽団、仙台フィル、千葉交響楽団などのポストを歴任。



首席客演指揮者 **高橋直史** × 常任指揮者 **山下一史** × ミュージックパートナー **柴田真郁**

撮影 荒川 潤

# 大阪交響楽団

## 2022シーズン～START!

### 指揮者就任インタビュー

Interview



この春、大阪交響楽団（以下大阪響）の指揮者陣が一掃する。常任指揮者に山下一史、ミュージックパートナーに柴田真郁、首席客演指揮者に高橋直史。どんな（大阪響サウンド）を目指すのか。3人が熱く語り合った。

◆**妥協せず、とことん議論したい**  
——山下一史

「僕がこの中で一番大阪響を指揮していないんですよ。だから常任指揮者が山下で、大阪響ファンはびっくりしたと思いますが、もっと驚いたのは僕かもしれないですね。昨年春に2度、久しぶりに大阪響の指揮をして密度の高いコンサートになりました。オーケストラの力のたまものです。3年の任期で、三者三様のサウンドを創りたいですね。山下一史は身振り手振りを交え、高い熱量で語る。九州交響楽団、仙台フィル、千葉交響楽団などのポストを歴任。

全てを表現できた作曲家。最初に交響詩『英雄の生涯』を演奏することで、3年間で目指す方向性を示したい。残る定期ではシューマンとメンデルスゾーンを。シューマンは長調でも悲しい響きを持つ複雑な作曲家です。素晴らしいソリストを招いて、あらゆる手を使ってオーケストラを鼓舞していきたい」と力強い所信表明を述べた。

柴田は毎年、演奏会形式のオペラに挑む戦略を打ち出した。「日本のオーケストラの定期演奏会としては珍しい試みではないでしょうか。最初はドヴォルザークの『ルサルカ』。歌手の演技がないので、オーケストラは本気で表現しない」



（取材・文 出水奈美）

第255回定期演奏会  
5/13(金) [指揮]山下一史 [ソプラノ]石橋栄実  
ワグナー:ジークフリート牧歌/R.シュトラウス:4つの最後の歌、交響詩「英雄の生涯」

第256回定期演奏会  
6/29(水) [指揮]外山雄三 [チェロ]タマーシュ・ヴァルガ  
ハイドン:チェロ協奏曲 第2番 二長調 op.101 Hob. Vlb-2/シューベルト:交響曲 第9番 八長調 D944「ザクブレイト」

第257回定期演奏会  
7/22(金) [指揮]ガブリエル・フェルツ  
[ヴァイオリン]白井 圭 [チェロ]門脇大樹  
ブラームス:悲劇的序曲 op.81/ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲 イ短調 op.102/ベートーヴェン:交響曲 第7番 イ長調 op.92

第258回定期演奏会  
9/2(金) [指揮]高橋直史 [ソプラノ]並河寿美  
フェルディナント・ヒラー:「デメトリウス」序曲 op.145/シェーンベルク:6つの歌 op.8/シューマン:交響曲 第1番 変ロ長調 op.38「春」

第259回定期演奏会  
10/27(木) [指揮]グイード・マリア・グイェーダ [アルト]片桐仁美  
[合唱]大阪響コーラス [合唱指揮]中村貴志  
ブラームス:アルト・ラプソディ op.53、運命の歌 op.54/シューマン:交響曲 第2番 八長調 op.61

第260回定期演奏会  
12/8(木) [指揮]オーラル・ロードナー [ピアノ]熊本マリ  
モーツァルト:ピアノ協奏曲 第12番 イ長調 K.414(385p)/ブルクナー:交響曲 第6番 イ長調

第261回定期演奏会  
2023.2/5(日) [指揮]柴田真郁 [王子]高橋達也 [外国の王女]砂田愛梨  
[ルサルカ]森谷真理 [水の精]田中由也 [エインバウ]福原寿美枝  
[森の番人]晴 雅彦 [料理人の少年]村松穂之  
[森の精]端山梨奈 白石優子 瀬戸口文乃 [狩人]荏原孝弥  
[合唱]大阪響コーラス [合唱指揮]中村貴志  
ドヴォルザーク:歌劇「ルサルカ」 op.114 演奏会形式 原語(チェコ語)上演(日本語字幕付き)

第262回定期演奏会  
2023.3/3(金) [指揮]山下一史 [ピアノ]河村尚子  
シューマン:付随音楽「マンフレッド」 op.115 序曲/ピアノ協奏曲 イ短調 op.54  
メンデルスゾーン:交響曲 第5番 二短調 op.107「宗教改革」

【お問い合わせ】大阪交響楽団 072-226-5522



※2022-2023シーズンの名曲コンサートの詳細はP6に掲載

◆**「大阪響に育ててもらいました」**  
——柴田真郁  
「私は大阪響に育ててもらいました」と話すのは柴田真郁。関西





# ベスト・オブ・アリア

～ある晴れた日に～  
伊藤 晴  
ソプラノ・リサイタル

名曲尽くしのプログラム。  
まさに「ベスト・オブ・アリア」！  
大阪のオペラファン必聴のリサイタル

**彼女の当たり役となったオペラの名アリアが多数**

中音から高音にかけての発声と音程が安定力抜群で、役柄や歌詞の言語などに応じて可憐さや力強さを巧みに歌い分ける。そんな妙技で、所属する藤原歌劇団を中心に次々とヒロインを射止めている注目の若手ソプラノ歌手 伊藤晴が、ザ・シンフォニーホールで初となるリサイタルを行う。ソロ以外では度々出演歴があるから、ご存知の方は多いだろうし、大阪の音楽ファンには待望の公演と言えるだろう。

共演のピアニストは、仲田淳也。イタリア留学中に数々のオペラにスタツプとして関わったスペシャリストで、現在は新国立劇場で音楽スタツプとしても活躍中だ。

三重大学の教育学部で音楽を学んだ伊藤は、当初プライベートで歌のレッスンに通っていたそう。その先生から歌を専門的に学ぶことを勧められたことで武蔵野音楽大学大学院を受験。その後、表現力をさらに磨くべく、イタリアのミラノとフランスのパリで合計4年に渡る研鑽を積んだ。

その間、パリ地方音楽院で教授をしていた富佐子マルゴ二との出会いが大きな転機となり、現在に繋がるスティックかつ柔軟なブ口意識が育まれていったという。



今回のリサイタルは、「ベスト・オブ・アリア」ある晴れた日に」と銘打って開催。その名の通り、予定演目には彼女のバラエティ豊かなレパートリーが並んでおり、公演に寄せる意気込みの強さが窺われる。

ブッチーニからは、彼女の十八番である『蝶々夫人』の「ある晴れた日に」と、『ラ・ボエーム』の「私の名はミミ」。2017年に山田和樹指揮&岩田達宗演出の東京文化会館・愛知県芸術劇場公演においてミカエラ役を演じて大好評を博したビゼー『カルメン』からは、「何を恐れることがありません」といった、これまでに彼女の当たり役となったオペラの名ア

[ソプラノ]伊藤 晴 [ピアノ]仲田淳也

ブッチーニ: 歌劇『蝶々夫人』～「ある晴れた日に」／歌劇『ジャンニ・スキッキ』～「私のお父さん」／歌劇『ラ・ボエーム』～「私の名はミミ」／ビゼー: 歌劇『カルメン』～「何を恐れることがありません」／ヴェルディ: 歌劇『シチリア島の夕べの祈り』～「ありがどう、愛する友よ」／グノー: 歌劇『ファウスト』～「宝石の歌」／シャルバンティエ: 歌劇『ルイーズ』～「その日から」／アーン: 「リラに来るうぐいす」, 「春」／ロッシーニ: 「約束」／中田喜直: 「さくら横ちょう」, 「たんぽぽ」ほか

2022.3/21(月・祝) 2:00PM  
全席指定 4,400円 (税込)  
[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

アが多数。さらに、中田喜直「さくら横ちょう」「たんぽぽ」などの日本歌曲が選ばれているのも嬉しい。

「イタリア・オペラの役柄をきちんと演じながら、フランス・オペラ&歌曲も伝統的なスタイルで歌える歌手になりたい」と、今後のキャリア・デザインを語っていた彼女の想いが集約された今回のリサイタル。帰国から約10年を経て、着実に階段を昇り続ける彼女の現在と未来を最良の形で味わえる春の午後をぜひ！

(文 渡辺謙太郎)



# elegy 横坂 源

チェロ・リサイタル 2022

フォーレ、チャイコフスキー、ショパン——  
名作を一挙に披露。  
聴くものの心に寄り添う豊かな響き

**演奏される2曲はチェロ奏者の重要なレパートリー**

2021年3月にザ・シンフォニーホールで初めてリサイタルを開催したチェリストの横坂源が、今年3月、再び戻ってくる。

2017年に「3大協奏曲」のシリーズでドヴォルザーク『チェロ協奏曲』を披露して以来、横坂はザ・シンフォニーホールと深い絆をはぐくんできた。開館40年を迎える2022年12月には、このリサイタルのほかに「熱狂コンサート」へも出演が決まっている。

少年時代から注目されてきた横坂は、高校に入る直前に世界的マエストロ小澤征爾と共演し、シュトゥットガルト国立音楽大学では世界的チェリストのジャン＝ギヤン・ケラスに師事。2010年にミュンヘン国際コンクールで第2位を受賞後は、ドイツでトップクラスのシュトゥットガルト放送交響楽団で客演首席チェリストとして活動した。

人の声を聞くようなぬくもりに満ちあふれる横坂の音は、聴く者の心に寄り添う。その深くしみわたる豊かな響きとともに、思索を積み重ねた彼の音楽は、大きな感動を呼び起こす。

リサイタルのタイトルは、前回に続いて「elegy」。リサイタル

の根幹をなすのは、横坂が子どもの頃から愛してやまないフォーレの『エレジー』である。リサイタル後半では、クライスラー「愛の悲しみ」「美しきロスマリン」やチャイコフスキー「メロディ」など、ロマンティックなヴァイオリンの名曲がチェロで披露される。

今回のプログラムの軸となっているのは、ショパン(1810-49)の作品だ。少し前にシヨパン国際ピアノコンクールが開催され、日本もショパン・ブームで沸き立っているが、横坂はチェロでショパンの音世界に挑む。

「ピアノの詩人」ショパンのチェロの曲は、作品数こそ少ないが、このリサイタルで演奏される2曲はチェロ奏者の重要なレパートリーとなっている。

ショパンは『序奏と華麗なるポロネーズ』を、チェロを愛好するラジヴィウ公が演奏することを想定して作曲し、おそらく20歳で完成させた。彼は8歳になる直前にラジヴィウ公の邸宅で演奏したのを機に、同公から支援を受けていたのだ。また、『チェロ・ソナタ』は1847年、友人で名チェリストのフランコムのために作曲された。その2年後、臨終迫るショパンのそばでフランコムはこのソナタを演奏することにした。

この2曲のショパンのチェロ作

[チェロ]横坂 源 [ピアノ]津田裕也

ショパン: 序奏と華麗なるポロネーズ op.3 / チェロ・ソナタ 短調 op.65 / フォーレ: 蝶々 op.77 / エレジー op.24 / クライスラー: 愛の悲しみ / 美しきロスマリン / ショパン: ポロネーズ 第6番 変イ長調 op.53 [英雄ポロネーズ] ※ピアノ・ソロ / チャイコフスキー: 横かき土地の思い出 op.42-3 [メロディ] / アイルランド民謡: ロンドンデリーの歌 / ポツパー: ハンガリー狂詩曲 op.68

2022.3/19(土) 7:00PM  
全席指定 4,400円 (税込)  
[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333  
[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

品は、いずれもピアノ・パートに卓越した演奏技巧が求められる。それを担うのは、ピアニストの津田裕也だ。2007年に仙台国際音楽コンクールピアノ部門で日本人初優勝を飾り、現在は若くして母校の東京藝術大学の准教授を務める。室内楽のジャンルでは、超一流のアーティストたちとの共演も目白押しの人気が高い。横坂の参加したミュンヘン国際コンクールでも、津田は伴奏者として彼の熱演を支えた。

いまま共演を重ねる実力派の二人が、この美しく叙情的なプログラムをどのように聴かせてくれるのか、期待が高まる。

(文 道下京子)



ピアノ 尾城杏奈

ショパン  
ピアノ協奏曲 第1番



ピアノ 亀井聖矢

ラフマニノフ  
ピアノ協奏曲 第3番



ピアノ 森本隼太

リスト  
ピアノ協奏曲 第1番

今、絶対に注目すべき新鋭ピアニストが奏でる華麗なる名曲3選！

# 特級 グランド・ コンチェルト

Masaya Kamei

Interview 亀井聖矢

撮影:平舘 平

今後大輪の花を咲かせることが期待される3人  
2021年のショパン国際ピアノコンクールでの日本人若手の活躍もあり、今、俄然盛り上がりつつあるピアノ界。2022年5月1日、ザ・シンフォニーホールでは、今後大輪の花を咲かせることが期待される3人の新鋭による、名作ピアノ協奏曲3作がラインナップされたコンサートの開催される。

出演するのは、いずれもピティナ・ピアノコンペティション特級で優秀な成績を収めた若手だ。リストのピアノ協奏曲第1番を弾く森本隼太（2020年度特級銀賞）は、若いエネルギーにあふれた10代。東京藝術大学大学院在学中の尾城杏奈（2020年度特級グランプリ）は、内面に向き合うタイプで、ショパンのピアノ協奏曲第1番を披露予定。そしてもうひとりの出演者である亀井聖矢は2001年生まれ。2019年、第88回日本音楽コンクールピアノ部門 第1位およびピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリを手にした注目株だ。リストを思わせる大きくて形のよい手を持ち、ピアニストになるべく生まれしてきたという形容がよく似合う亀井にインタビューを行った。



ショパンコンクールにもとても刺激を受けた

4歳からピアノをはじめ、愛知県立明和高等学校音楽科から、飛び入学特待生として桐朋学園大学ピアノ科に進学。ピアノ以外にも、副専攻として作曲を鈴木輝昭に師事。亀井は「作曲的な視点はピアノを弾く際にもとても参考になります」と語る。すでに輝かしいコンクール歴の持ち主だが、「自身が成長できる場」としてコンクールを捉えている。

熱意を注ぎ込むので、それぞれの音楽性や個性を見ることができません。評価される場であるだけに、情熱をかけた分、成長ができると考えています。2022年以降、国際コンクールにも挑戦しようと計画しています。先のショパン国際ピアノコンクールでもとても刺激を受けましたので、いずれショパンやチャイコフスキーのような

コンクールも出場できればという思いがあります」  
ラフマニノフの魅力を存分に披露していきたい  
今回、亀井が弾くのは、ラフマニノフのピアノ協奏曲第3番。名曲中の名曲だ。  
「ラフマニノフの第3番は第3楽章などの技術的な難しさもありますが、オーケストラとどう

いうふうに対話していくかがとても重要な曲です。情緒的な部分もありですが、それだけではなく、まるで、遠くを見ながらゆっくり歩いて行く、かのような憂いもある。ちょっととした感情の揺れのバランスなど、繊細な部分も表現できればと思っています。ラフマニノフの自作自演の録音も聞きましたが、作曲家自身の演奏を参考にしつつ、楽譜からさらに読み取って、ラフマニノフの魅力を存分に披露していきたいですね」

初のザ・シンフォニーホール。初共演が本当に楽しみ

亀井にとって、本公演は初めてづくしだ。  
「ザ・シンフォニーホールで弾くのは初めてですし、指揮の藤岡幸夫さんと関西フィルハーモニー管弦楽団とも初共演なので本当に楽しみです！ザ・シンフォニーホールは大きく、とても響きの良いホールなので、タッチや弦の鳴らし方なども工夫していきたいですね」

今後は海外で学ぶことも考えているという。  
「以前パリでレッスンを受け、レッスンそのものも大変勉強になりましたが、パリの街も好きになりました。海外は日本の指導法などと異なるので、そういったこ

[ピアノ] 森本隼太、尾城杏奈、亀井聖矢  
[指揮] 藤岡幸夫  
[管弦楽] 関西フィルハーモニー管弦楽団  
リストピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調 S.124/R.455(森本隼太) / ショパンピアノ協奏曲 第1番 変ホ短調 op.11(尾城杏奈) / ラフマニノフピアノ協奏曲 第3番 二短調 op.30(亀井聖矢)  
2022.5/1(日) 2:00PM  
S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円 学生 3,500円 (税込)  
お問い合わせ 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 03-3944-1583  
主催 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 / ザ・シンフォニーホール  
先行予約: 1/20(木) 一般発売: 1/23(日)

オーケストラとどういふふうに対話していくか——  
ラフマニノフの魅力を存分に披露していきたいですね

